

お客様へのメッセージ冊子

この冊子は、お客様に向けた、セゾン投信のメンバーの思いや、
応援いただいている方々のメッセージを集めたものです。

ぜひ、ご一読ください。

下記は必ずお読みください。

この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく、開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。

情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。

この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者（以下「情報提供者」）に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。

この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。

このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。

投資信託の取得を希望される方は、必ず投資信託説明書（目論見書）の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

2007年10月3日

長期投資家仲間へのメッセージVOL、7

2007年10月3日

世界経済の現実

世界は91年に冷戦が終結して以降長期に亘る平和な時代が訪れました。イデオロギーという世界を分断する政治の壁がなくなったあとには、国境を越えてヒト・モノ・カネの自由な往来を可能とし、まさに地球という星を単位としたボーダレスな経済活動が当たり前の時代として21世紀が定義されました。地球単一経済を象徴的に表す事象として、世界各国の経常収支は大変わかり易いデータを提供しています。現在圧倒的に経常黒字を稼いでいるのは中国であり、次いで日本・ドイツ・ロシア・スイスと経常黒字国が続きます。この上位5カ国の2006年度合計が約7千億ドルであるのに対して、圧倒的な経常赤字国のチャンピオンである米国は1国で8千億ドル以上の赤字を吐き出しています。つまり世界経済の中身は赤字が米国に集中しそれが日独や新興大国の稼ぎで賄われているわけで、実際には黒字国から米国市場への投資というかたちで地球はバランスされているのです。

客観的に見れば凄まじき赤字に苦しんでいるはずの米国が何故に世界のマネーを集められるのでしょうか。端的に言えば、冷戦終焉により世界パワーバランスは米国の圧倒的な軍事力による一極支配が確立したわけであり、その強大なる国力と政治力に基づいた世界平和の中でドルは引き続き世界最大の基軸通貨の地位を保てるのです。そしてもうひとつ、ドルという基軸通貨に裏打ちされたニューヨークの金融市場はますます圧倒的な世界最大の金融センターとして、巨額な世界中の余裕資金を吸引しかつ吸収するスケールをもって米国の赤字を補填する機能として君臨しているという現実が、地球経済を俯瞰したときの実態なのです。一方で欧州の地域経済通貨として劇的にパワーアップしたユーロ市場は、いづれ米ドルに対抗する経済的影響を持つであろうとももちろん予想されます。従って21世紀の世界経済の中で運用成果を安定的に積み上げていく私たち長期投資家にとって、米国市場とユーロ市場という政治力と経済力を有したマーケットにしっかりと資金を配分していくことが、当分の間必須のことと考えています。

日本の現実

翻って日本市場の実状はといえば、根本的な信頼性を損ないかねない事象が山積しています。年金問題はそもそも仕組み自体が機能不全となる構造要因への解決が焦眉の急であるなかで、5千万件の記録漏れの露呈に始まり社保庁の杜撰な実態が明らかになると共に、とうとう100件以上の着服履歴までが世間にばれてしまいました。これは官への信頼性喪失の象徴的出来事です。政では首相が途中で職責を投げ出し構造改革の逆戻りが懸念され、またぞろ地方へのばら撒き復活かと財政再建への懸念が再燃しています。おまけに日本企業の買収防衛策に対する海外からの不信の高まりと、市場参加者が気持ち悪くなる材料のオンパレードです。先月のサブプライムショックによる世界同時株安後、世界の株式市場

はすでに下落前の水準を回復する中で日本株だけが半値戻しに留まる体たらくは、日本が内的に抱える負の材料の市場評価に他なりません。

一方で先月の暴落は明らかな市場の狼狽売り、その結果あとから内政上の悪材料がクローズアップされたわけであり、実体経済とは無関係です。相変わらずグローバル化の流れをしっかりと捉えて経営努力を重ねる多くの日本企業の底力が国内景気を支えています。その流れを捉えられていないのは政府や行政であって、国民ひとりひとりの日々の生活を礎として民が主導する我が国の実体経済は、マネーゲームや政官の怠慢など超越して、地に足を付けた活動を続けています。市場価値が勝手に下がって実体経済と乖離した、こんな時こそしっかり資金投入できるのが何といたっても私たち長期投資家の醍醐味です。

「貯蓄から投資へ」の本旨

日本は90年代のバブル崩壊により天文学的な財産価値が失われました。そこから生じた銀行の不良債権処理と金融システムを正常化させる上で採られたゼロ金利政策により、家計の利子所得から移転させられた金額は、日銀から331兆円と公表されています。これだけの生活者の収入が国家から篡奪され犠牲を強いたことで日本の金融機関も金融システムも国家的破綻を免れたのです。今後は09年に基礎年金の国庫負担率切り上げに伴う財源としての消費税増税が予想されます。その先には900兆円近い政府の財政赤字のツケもいづれ国民が負うことになるのでしょう。

政府が「貯蓄から投資へ」の流れを後押しする理由は、ひとつには政府の社会保障負担縮小のなかで国民ひとりひとりへの自主解決を求めるという側面と、もうひとつは預貯金から国債にシフトしてもらうことで何とか国家財政の資金調達を賄おうという目的です。他方金融機関は収益構造転換を迫られるなかで、投資信託などの手数料収入を重要な収益の柱に掲げています。そして読んで字の如く「貯蓄から投資へ」の掛け声から狙われるのは、個人金融資産の半分を占める私たち生活者の780兆円に及ぶ預貯金なのです。

国の赤字補填に使われ、金融機関からも手数料商売の具となってしまう前に、自分の預貯金を自らの意思でしっかり長期投資の波に乗せてしまうことこそが「貯蓄から投資へ」の本旨の実践であり、将来を見据えた財産形成への最善のアプローチであるはずで

セゾン投信の夢

セゾン投信のミッションは「生活者のための将来への資産形成のお手伝い」です。そしてそれを体現するため長期投資を絶対の軸に据えて運用に取り組んでいます。混迷を極める政治はあてにしない、国にも頼らない、自分の人生は自分自身で安定させる、そうした自立して胸を張って生きて行く生活者の集合体である国に日本を変えて行きたい、そんなビジョンを持ってひとりでも多くの「長期投資家仲間」を創造して行くことを目標に掲げています。まず長期投資を生活のリズムの中に取り込むことで、しっかり時間をかけて経済的自立を実現させる、そのパートを私たちはお手伝いしようということです。

成熟社会で経済的自立を果たすためには確かに運用が不可欠です。がこれはあくまでもお金にもしっかり働いてもらおう、つまりは自分のお金を世界の金融市場に出稼ぎに出すということです。出稼ぎに出したお金が長期投資でしっかりと資産形成の果実を育んだら、私たち日本の生活者はそれを後生大事に貯め込むのではなく、今度は素敵に使っていく番になります。経済を支えるのはお金の循環つまり「消費」です。我が国において生活者ひとりひとりが品性ある「消費」= お金の遣い方をすることの積み重ねが、格調高き日本経済を形作っていくのです。素敵なお金の遣い方をこれから「長期投資家仲間」の皆様とじっくり考えて行きたいと思っています。私たち長期投資家が格調高き行動を積み上げることで、21世紀の日本を格調高き国にしたい！セゾン投信の大きな夢であります。

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

親愛なる投資家の皆様

バンガード・グループ会長兼最高経営責任者
ジョン・J・ブレナン

このニュースレターに私のメッセージを載せていただけることを大変うれしく思います。私どもバンガード・グループはセゾン投信との提携につきましては大変心躍るものを感じており、“セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド”ならびに“セゾン資産形成の達人ファンド”の両ファンドが日本の多くのお客様から大変なご支持を頂いていることはこの上もなく幸せでございます。毎日多くの新しいお客様が、セゾン投信とバンガードの提携に期待を寄せて下さっている様子が、ファンド残高の増加から如実に伝わってまいります。

この機会に、バンガードが最も重要だと考えるコンセプトについてお話しさせてください。それは、クライアント・ロイヤルティ（お客様から長く愛され続けること）です。すでにご存知かも知れませんが、私たちは、お客様への奉仕の大切さを常に強調してきました。設立以来32年の間、一貫してお客様の利益を何よりも優先してきました。そして幸いにも、多くのお客様の熱心なご支持を得ることに成功してきました。

クライアント・ロイヤルティの実例

先日、あるスポーツイベントで初対面の紳士から声をかけられました。息子さんが大学の一年目にとった金融のクラスの教授が、最初の授業で学生にこう言ったそうです。大学を卒業して働き始めたら、すぐにバンガードのファンドを買い始めなさい、と。その教授は、バンガードの隠れたセールスマンだった？いいえ、とんでもない。ただバンガードの長年のお客様でした。バンガードの商品とサービスに大変満足していた彼は、バンガードこそ次の世代の個人投資家たちに絶好の投資サービスを提供してくれる投信会社だと信じていたのです。これが、具体的なクライアント・ロイヤルティのエッセンスです。

バンガードの社員は同じような話をよく耳にします。が、決してそれに慣れてしまったり、当然だと思ったりしません。バンガードやセゾン投信のような金融機関にとって、お客様の口コミこそがビジネスのよりどころだと知っているからです。個人的な金融取引や投資を始めようとするとき、私たちはしばしば、信頼できる友人や家族、アドバイザーや、場合によっては大学の教授などから意見を聞きます。

長くバンガードを愛してくださるお客様こそ、私たちのビジネスの成長を押し上げてくれるエンジンであり、企業価値の継続的な増大を可能にしてくれる力なのです。私たちは、長年にわたりクライアント・ロイヤルティを計測してきました。それは結局、私たちのビジネスの成功の度合いを測るのと同じことです。お客様が満足していないということは、私たちがやるべき仕事をやっていないということです。

お客様がセールスマン

クライアント・ロイヤルティ研究の権威、フレッド・リッチフィールドの書いた「究極の質問」という本に大変面白い統計が紹介されています。その本によると、クライアント・ロイヤルティを測る最良の方法は、たった一つの単純な（つまり、「究極の」）質問に答えてもらうことだということです。「あなたは、どのくらいこの会社をお友達や同僚の方々に推薦したいと思っていますか？」

このアンケート調査の結果を採点するために、リッチフィールド氏は次のような指標を使用しました。推薦したいという人の数から推薦したくないという人の数を差し引いたのです。そして、この数字を「純推薦人スコア」と名づけました。その本に掲載された同スコアの集計リストによれば、アメ

リカ全企業のトップにランクされたのはバンガードでした。バンガードのスコアは70%。全業種の平均スコアは10%にとどきませんでした。バンガードのほか上位にランクされた企業には、ハーレー・ダビッドソン、イー・ベイ、アップルなどが含まれています。

得意客がビジネスに与える好ましい影響力

バンガードの純推薦人スコアは、まさにすばらしい数字ですが、バンガードのビジネスにとってはどういう意味があるのでしょうか。リッチフィールド氏は例の本の中で、得意客がビジネスに与える好ましい影響力についてこんな説明をしています。得意客を多く持つ企業ほど、既存顧客の満足度を高めるような商品やサービスの改善に多くの経営資源を振り向ける。一方、新規顧客開拓のためにそれほどのお金はつかわないと言うのです。熱烈なお得意様こそが、その企業にとっての最高の宝物です。なぜなら、自身の経験を周囲の人たちに話すことで多くの新規顧客を呼び込んでくれるのですから。

逆に、クライアント・ロイヤルティの低い（すなわち、推薦したくないという人の数が推薦したいという人の数を上回っている）企業は、当然ですが、得意客を増やすことができずに苦労しています。顧客の定着率は低く、否定的な評判が流布することでますます窮地に陥っていきます。そのような企業は、生残り策として事業の一部削減を余儀なくされますが、それがまた、既存顧客の不満を募らせるという結果をまねきかねないのです。

お得意様のおかげで、バンガードの販売促進費用は、業界平均のほんの何分の一かに節約されています。私たちの業務の拡大は、お客様の口コミの力に多くを負っています。さらに、多くのお得意様の存在を支えとして、より多くの企業努力を顧客満足の一層の増大に傾注することができ、最高品質のサービスと商品の継続的な提供に専念することができます。それによって、ひいては、私たちがいつも一貫して提唱し実践している投資の基本原則 - 「バランス」「分散」「低コスト」「長期保有」 - を、既存のお客様および未来のお客様に対して、提唱し続けることができるのです。

どんな指標に従おうと、満足度の高いお客様の存在がビジネス成功の鍵であることは業界を問わず明らかです。バンガードは、可能な限り大きな価値を投資家の皆様にご提供するため、今後とも不断の努力を続けてまいります。

バンガードにとっての最良の「セールスマン」は、冒頭でお話した大学教授のような、バンガードのお客様です。お客様が、バンガードに感じている満足を、お友達や家族の方々に話して下さるたびに、バンガードに投資して下さっているすべての方々にとっての価値が膨らんでいくのです。「あなたの会社について何も知らなかったけど、私の信頼している人がバンガードで投資したらと薦めてくれたので・・・」、新しいお客様のこんな声を聞くこと、私にとってこれ以上の喜びはありません。私たちの仕事に対するお客様の支持、これこそ、私たちの望む最高の報酬です。

ご愛顧に感謝いたします。

執筆者プロフィール

JOHN J. BRENNAN 氏 (ジョン J. ブレナン)

バンガード・グループ・インクの取締役会長兼最高経営責任者。

バンガードは、ペンシルバニア州に本拠地を置く米国第2位の投信会社。運用資産の総額は、2007年6月現在1兆3千億ドル（約150兆円）を超える。

世界初の公募インデックスファンドを創設したことで知られ、そのマーケットシェアは競合他社を大きく上回っている。

原文（英語版）をセゾン投信ホームページ「お客様へのメッセージ集」に掲載しています。

「投資先進国」アメリカに学ぶ長期投資

セミナー概要

約130兆円(2007年1月現在)と投資信託業界で世界第2位の運用資産残高を持つ米国バンガード社から講師をお招きし、投資先進国といわれるアメリカの投資事情を学びながらこれからの資産形成に有効な方法を考えるセミナーです。

第1部 基調講演

ネイスン・ニューポート氏 (米国バンガード・グループ 国際部リレーションシップマネージャー)

第2部 パネルディスカッション

テーマ:「投資先進国」に学ぶ長期投資

<パネリスト> 加藤 隆氏(バンガード・グループ駐日代表)

ネイスン・ニューポート氏

中野晴啓(セゾン投信代表取締役社長)

<コーディネーター> 藤沢久美氏(シンクタンク・ソフィアバンク副代表)東京会場のみ

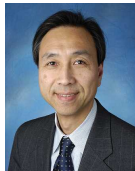
開催会場

<大阪> 日時 2007年11月17日(土)14:00~16:30 (開場 13:30)
会場 大阪桐杏学園 会議室(住所:大阪市北区梅田1-1-3)
定員 200名

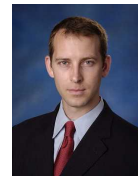
<東京> 日時 2007年11月18日(日)13:00~16:00(開場 12:30)
会場 ニッショーホール(住所:東京都港区虎ノ門2-9-26)
定員 350名

パネリスト・コーディネーター

加藤 隆氏
バンガード・グループ
駐日代表



ネイスン・ニューポート氏
米国バンガード・グループ
リレーションシップ・
マネージャー



藤沢久美氏
シンクタンク・ソフィ
アバンク副代表
(東京・11/18のみ)



中野晴啓
セゾン投信
代表取締役社長



お申込み お問合せ先

入場無料 参加票が必要になりますのでご応募が必要です。
応募期間 2007年10月31日まで
応募多数の場合は抽選となります。
抽選結果は開催日の7日前までにご連絡いたします。

下記ホームページまたは当社お客様窓口よりお申込ください。
<http://www.saison-am.co.jp/>
(セゾン投信トップページよりセミナー情報をご覧ください)

お客様窓口
TEL:03-3988-8668(9:00~17:00 土日祝日を除く)

ご留意事項

本セミナーにおきまして、セゾン投信が設定、運用、販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。ご購入に際しては、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

セゾン投信の素顔

既に口座の開設をいただいた方含め、我々の取組みに興味や関心を持って見守っていただいている方へのメッセージ発信の場として「セゾン投信の素顔」を掲載しております。ここでは、セゾン投信で働くメンバーが日々感じたり考えたりしていることを紹介しています。セゾン投信で熱い思いを抱いて働いている私たちの人となりを少しでも感じていただければ幸いです。

「読書の秋」

厳しい残暑もそろそろ終わり、これからは読書の秋ですが、皆様、本はお好きですか？
実は私は本が大好きで、電車の中や夜寝る前によく読みます。休みの日の午後、ビールを飲みながらの読書は、まさに私にとって至福の一時です。

金融という仕事柄、経済小説とか結構好きなのですが、それ以外でも推理小説やエンターテイメント系など、ジャンルを問わずに読んでます。(ホラー物はちょっと苦手ですが。)
また、好きな作家に出会うと、立て続けにその人の作品ばかり読んでしまうのですが、最近では、萩原浩さんにはまってしまいました。作品は主にエンターテイメント系が多いのですが、ミステリー系っぽいのも手がけるなど、幅広く書いている方です。ちょっと前に映画になった「明日の記憶」やドラマで放映された「僕たちの戦争」も実はこの方の作品です。

中でも、私のお勧めの一冊は「メリーゴーランド」という作品です。地方公務員のお父さんが、閑古鳥の鳴いているテーマパークをなんとかしようとする話なのですが、笑いながらも、ラストはちょっとほろっとくる作品です。

これからは秋風が心地よく、公園の読書とかには絶好の季節、なにか読んでみようかなとお考えの方に是非お勧めの一冊です。

田中

「日常、ふと考えたこと」

最近テレビをみていたところ、人気のミュージシャンが曲作りについて語っていました。一人が曲をつくる、そして歌詞を書く。もう一人はその歌詞の音的な響きを大切にしつつも、より心にひびく歌詞を完成させる、という内容だったと思います。

きっとその過程は、簡単に言葉で語れるものではなく、また、お互いを信頼してるからなどつまらないことでもなく、テレビではおさまらない、妥協なく、より高みを目指して目指してようやく1つの形になり、その様子は曲が完成しても表には出てこない。

このアーティストの曲を買い、ドライブ中に聞いてみたら、柄にもなく、少し感慨深くなりました。

1 + 1 を 2 にするのでさえ簡単ではないのに、2 以上にできる力を身につけたそんな稀有な存在が素晴らしいなと、急に涼しくなった昨今ふっと考えてみたりしました。

市本 宏

「夏の思い出」

先日フランスに行きました。ある程度覚悟はしていたものの、食事・観光・宿泊・・・いろいろなものの価格が随分と高く感じられた旅でした。10年以上前にヨーロッパを旅した頃は、「海外に行ったら何でも安い」という感じで、ルームサービスを頼んでちょっとリッチな気分を味わったり、ブランドショップが若い日本人で溢れかえっている様子に少し驚いたりした思い出がありますが、すっかり様変わりしてしまったのかなあという感じです。ところで、ビックマック指数(*)というのをご存知ですか？マクドナルドで販売されているビックマック 1 個の価格を比較して、各国の経済力を測ろうというものです。そこに記載されている各国のビックマック価格を比べると、日本が 280 円に対して、ユーロ圏は 3.06 ユーロ、日本円に換算すると約 500 円ですから、ちょっと高いなあという感じがしませんか？日本はこの数年デフレと言われ物価上昇が抑えられてきましたし、為替は 2000 年に 1 ユーロ = 100 円を下回っていた頃からほぼ一方的に円安が進み、現在 1 ユーロ = 160 円台ですから仕方がないのでしょうか。イギリスの地下鉄初乗りが 1000 円という記事を読んだことがあります、日本円しか保有しないリスクというのを感じてしまいます。

これまで私は、外貨投資 = 「円安になれば円建ての資産価値が上昇する」という側面ばかりに気を取られていましたが、「円安になると円の購買力が低下する」ことを肌で感じた今回の旅を通じて、これからは外貨投資 = 「通貨分散によるリスクヘッジ」という捕らえ方をしてみようと思います。円高になればグローバルで見た円の購買力は高まりますし、円安の際には保有している外貨資産の価値が相対的に上昇します。こんな風に考えると、為替の動きにも一喜一憂することなく、通貨分散投資が楽しめるのではないのでしょうか。

*イギリスの経済専門誌「エコノミスト」によって考案された指数

佐藤恭子

「N700 系の魅力」

先日大阪直販クラブセミナーの帰路、最終ののぞみで念願の N700 系車両を初体験できました。しかもポイントが溜まっていたのでちょっと贅沢して、大いなる評判のグリーン車で乗り心地を満喫してしまいました。感想は？ひとこと！素晴らしい！ほとんど抵抗感なく静寂の中で一気に加速するパワー、止まっているのかと思うくらいの揺れの少なさと安定性、そして何といても飛行機のビジネスクラス並みのグリーン車のシートの快適さ（もちろん電動ですよ！）。日本の鉄道技術力の高さを改めて実感いたしました。日本の鉄道業界は車両、線路、信号、、、など各専門企業が独自に技術を有しており、その業界構造が海外競争力の阻害要因になっていますが、今こそ連合企業体を組んで世界の鉄道需要に積極的に打って出ればきっと勝てるはず！これも日本経済の財産のひとつだと思います。

新幹線マニアのぼくとしては、大阪の勉強会で大いに盛り上がり、N700系で気持ちよくなった最高の一日でした。

中野晴啓

セミナー情報

<セゾン投信主催セミナー>

日時 : 10月22日(月) 19:00~20:00
テーマ : セゾン投信が見据える長期投資
講師 : 中野晴啓(セゾン投信代表取締役社長)
場所 : セゾン投信会議室(住所:豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60・54F)
費用 : 無料

日時 : 10月24日(水) 19:00~20:30
テーマ : 生活者のための簡単で有効な投資法
講師 : 加藤 隆氏(バンガード・グループ駐日代表)
場所 : ベルサール神田(住所:千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル3F)
費用 : 無料

日時 : 10月25日(木) 19:00~20:00
テーマ : セゾン投信の運用商品について
講師 : 当社運用部社員
場所 : セゾン投信会議室(住所:豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60・54F)
費用 : 無料

<バンガード・グループ セゾン投信共催セミナー>

テーマ : 「投資先進国」アメリカに学ぶ長期投資

<プログラム>

講演 : ネイスン・ニューポート氏
(米国バンガード・グループ 国際部リレーションシップマネージャー)

パネルディスカッション

<パネリスト>

加藤 隆氏(バンガード・グループ駐日代表)

ネイスン・ニューポート氏

中野晴啓(セゾン投信代表取締役社長)

<コーディネーター>

藤沢久美氏(11月18日のみ)

日時 : 11月14日(水) 19:00~20:30 <東京・ミニセミナー>
場所 : 日本教育会館 第2会議室(住所:千代田区一ツ橋2-6-2)

日時 : 11月17日(土) 14:00~16:30 <大阪会場>
場所 : 大阪桐杏学園 会議室(住所:大阪市北区梅田1-1-3)

日時 : 11月18日(日) 13:00~16:00 <東京会場>
場所 : ニッショーホール(住所:港区虎ノ門2-9-26)

費用 : 無料

お申込期間:2007年10月31日まで(応募多数の場合は抽選となります。抽選結果は開催日の7日前までにご連絡いたします。)

セミナーの詳細、お申込につきましては当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

URL <http://www.saison-am.co.jp>

セミナーに関するお問合せ先

セゾン投信お客様窓口 TEL 03-3988-8668(9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)

<セゾン投信役職員が講師として参加予定のセミナー>

直販クラブ勉強会 in 名古屋

日時：10月26日（金）18:30～21:00

場所：中日コンサルティングプラザ（住所：名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル6階）

費用：1,000円

セゾンと地球と長期投資 in 大分

日時：11月3日（土）14:00～16:00

場所：全労協ソレイユ 3階 百合（住所：大分市中央町4-2-5）

費用：1,000円

セゾンと地球と長期投資 in 福岡

日時：11月4日（日）13:30～16:30

場所：博多市民センター 第一会議室（住所：福岡市博多区山王1-13-10）

費用：1,000円

セゾンと地球と長期投資 in 名古屋

日時：11月9日（金）18:30～20:30

場所：中日コンサルティングプラザ セミナールーム（住所：名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル6階）

費用：1,000円

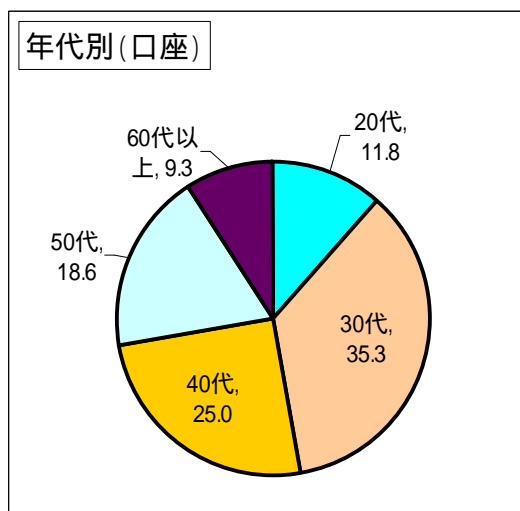
詳しくは当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

ご留意事項

前述のセミナーにおきまして、セゾン投信が設定、運用、販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書（交付目論見書）に詳しく記載されております。

ご購入に際しては、必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

セゾン投信 会員数（2007年9月末日） 15,711口座



TOPICS:

15,000口座の達成ならびに、10月2日には運用資産総額が100億円を超えました。ご愛顧をいただいているお客様皆様にお礼を申し上げます。

セゾン投信からのお知らせ

法人名義でのお取引、未成年者の口座開設ができるようになりました。
お客様からたくさんのご要望をいただいております法人名義でのお取引および未成年者の口座開設ができるようになりました。

法人名義でのお取引をご希望される場合

法人のお客様専用の口座開設キットをご請求いただく必要がございます。当社お客様窓口までお電話にてご請求ください。

未成年者のお口座開設をご希望される場合

インターネットまたは当社お客様窓口までお電話にて口座開設キットをご請求ください。
お口座開設にあたり以下の書類をご提出いただく必要がございます。

総合取引申込書	
振替決済口座設定申込書	総合取引申込書左下半分
申込者（未成年）様のご本人確認書類（A）	ご提出いただけるご本人確認書類は口座開設キット同封の記入例に記載されております。
親権者同意書	親権者が2名様の場合は2名様分のご記入が必要です。
親権者様のご本人確認書類	親権者が2名様の場合は2名様分のご提出が必要です。
親子関係が確認できる書類（B）	戸籍謄本・住民票謄本のいずれか

* AとBが1枚で済む場合

健康保険証（続柄が分かるものに限りです）

住民票謄本

上記以外の場合はAとBの両方をご提出いただく必要がございます。

未成年口座のお取引に関する注意点

* お取引は親権者の方からお電話のみで承ります。（インターネットでのお取引いただけません）

* 取引結果は書面（郵送）で口座名義人への交付となります。（電子交付サービスはご利用いただけません）

* ご住所や積立等の条件を変更される場合は「親権者同意書」をあわせてご提出いただく必要がございます。

当社のファンドに係るリスクについて

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当社のファンドに係る費用について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

<セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド>

申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.4935%（税抜0.47%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.77%±0.02%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

< セゾン資産形成の達人ファンド >

申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.567%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.3%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。